

協働事業企画書

協働事業名	郷土の偉人 童謡詩人「清水かつら」 ～幻の「大和音頭」を探せ！～
地域における 現状と課題	和光市議会定例会から、市長答弁。～「大和音頭」を踊るときには、演奏テープもなく～、どこでも気軽に踊れるような状態というのを、何らかの形でつくっていききたい・・・と。 今後の郷土資料として記録保存を要する。
事業を提案 した理由	昭和22年、大和町では「大和音頭」を一般募集。「清水かつら」が審査委員長を務め、同年11月3日、披露が行われた。この度、市民の方より、当時の貴重な資料を和光白子文化の会に寄贈されたため、公開目的に事業を提案した。
事業の内容	「大和音頭」の音源や内容等を郷土資料として、図書館、和光デジタルミュージアムにアーカイブする。音源は、新たに録音する。関連がある「白子村の歌」も資料化する。また、清水かつらの仕事も、現在、資料収集できたコンテンツも補完する。
協働の必要性 (行政に求める 役割)	「大和音頭」は連合青年会選と教育委員会制定歌の2種類がある。前者は、新たに録音が必要なため、演奏者、録音会場・機材等について役割分担を願いたい、また、後者は、市民が所有されているレコード等をお借りして複製作業、また、Webアーカイブ作業、情報発信についてもお願いしたい。
協働の効果	和光市図書館において、市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存に寄与でき、地域文化資源の保存・継承・発信等によって、地域コミュニティの活性化や地域文化の向上、生涯学習等に活用できる。また、市ゆかりの文化人等を活用した知名度の向上、シティプロモーション推進にも繋がる。
委託料（概算）	500,000円